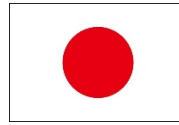




2018



第 17 回 ノルウェー フレンドシップ ヨットレース ディンギー部門 オープンクラス 帆走指示書

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則 2017-2020』に定義された規則が適用される。
- 1.2 和文と英文に矛盾が生じた場合には、英文が優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、陸上本部(江の島ヨットハーバー・ヨットハウス 1 階会議室 A2)に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 9:30 までに掲示される。

4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、ヨットハウス 2F のフラッグポールに掲揚される。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1 分」を「30 分以降」と置き換える。
- 4.3 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗の掲揚後 30 分以降に発せられる。」ことを意味する。艇は、この信号を発せられるまで、ハーバーを離れてならない。[DP]

5. レース日程

5.1 スケジュール

| | | |
|-------------|-------------|------------------------|
| 4 月 22 日(日) | 8:00~9:20 | 受付(陸上本部)(会議室 A2) |
| | 10:00~10:15 | 海上エントリー受付(レース委員会の本部船) |
| | 9:30~ | 開会式、艇長会議(会議室 A2) |
| | 10:25 | 第 1 レース予告信号 |
| | | <引き続き第 2 レースを行う> |
| | 15:00 | 表彰式 & パーティー(ヨットハウス 2F) |

- 5.2 レース数は最大 2 レースとする。
- 5.3 1 つのレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6. クラス旗

- 6.1 クラス旗はピンク色旗とする。
- 6.2 参加艇は、レースに参加していない艇と識別のため、受付時に配布される識別リボンをメインセールのピークまたはブームエンドに付けなければならない。識別リボンが所定の位置にない艇は、着順位を得られないことがある。

7. レース・エリア

レース・エリアは、レース海面図の江の島ヨットハーバー沖 A 海面とする。

8. コース

- 8.1 添付の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側にみて通過するかを含むコース図を示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号船にコースを示す最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 コースの長さは、スタートからフィニッシュ・ラインまで概ね 20 分～30 分を目安に設定される。ただし、1周以上周回できる艇は、フィニッシュするまですべての周回でゲートを通過しなければならない。ゲートは SI 10.1 で示すスタート・ラインと同じである。
- 8.4 コースのレグを準備信号の後に変更することはない。これは RRS 33 を変更している。

9. マーク

- 9.1 マーク 1、2 は、高さ約 1.7mの緑色円錐形ブイとする。マーク 3 は、オレンジ色円錐形ブイとする。
- 9.2 スタート・マークは、スターボードの端に位置するノルウェー国旗を掲揚する信号船と、ポートの端に位置するピンク色の円錐形ブイとする。
- 9.3 フィニッシュ・マークは、スターボードの端に位置する青色旗を掲揚するレース委員会の運営船と、ポートの端に位置するピンク色の円錐形ブイとする。

10. スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとポートの端にあるピンク色の円錐形ブイのコース側との間とする。
- 10.2 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これは RRS 付則 A4 と A5 を変更している。

11. フィニッシュ

- 11.1 フィニッシュ・ラインは、ポートの端にある青色旗を掲揚する運営船のオレンジ色旗を掲揚するポールと、スターボードの端にあるピンク色の円錐形ブイのコース側との間とする。
- 11.2 フィニッシュ・ラインは、スタートから概ね 20 分～30 分を目安に設定される。この通りとならなくても救済の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

12. ペナルティー方式

RSS 42 違反に対する特別な処置として、RSS 付則 P が適用されるが、RRS P2.3 は適用されず、RRS P2.2 を変更し、2 回目以降のペナルティーには P2.2 が適用されるものとする。

13. タイム・リミット

最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後 30 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。これは、RRS 35、A4、A5 を変更している。

14. 抗議と救済要求

- 14.1 抗議書は、陸上本部で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、適切な締め切り時間内に陸上本部に提出されなければならない。
- 14.2 すべてのクラスに共通で、抗議締め切り時間は、最終終了グループのレース終了後、またはレース委員会がこれ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。
- 14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるために、抗議締切時間後 15 分以内に通告が掲示される。審問は、陸上本部にある審問所にて掲示された時刻に始められる。レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)にもとづき伝えるために、掲示する。
- 14.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために抗議締切時刻までに掲示する。
- 14.5 SI 12 にもとづき、RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは掲示される。
- 14.6 SI 16、17、19 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS 60.1(a)を変更している。

15. 得点

- 15.1 大会が成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 15.2 平均速度の速い艇より各レースの順位を決定し得点を与える。平均速度は、艇が周回した距離と、所要時間を神奈川県セーリング連盟が発行した最新のヤードスティックナンバーで除算した修正時間より求める（ヤードスティックナンバーがない艇種は受付時に申し出ること。当日レース委員会が与えるヤードスティックを使用する）
- 15.3 同一平均速度の場合は周回数が多い艇を上位とし、同一周回数の場合は、ヤードスティックナンバーの大きい方を上位とし得点を与える。これは付則 A7 を変更している。
- 15.4 艇の大会の得点は、完了したすべてのレース得点の合計とする。これは付則 A2 を変更している。

16. 安全規定

- 16.1 帰着申告を適用する。競技者は陸上本部に用意した申告書に、帰着後速やかに本人がサインすること。ただし、海上エントリの艇は、レース海面を離れる前にレース委員会の本部船に口頭で申告すること。この指示に従わない競技者にはその日のすべてのレースに 5 点ペナルティーを課す。このペナルティーは審問なしに適用される。この指示にもとづくペナルティーに対する得点の略語は PFP とする。この項は、RRS 63.1 を変更している。
- 16.2 レースからリタイアした艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 16.3 海上では常に適切な個人用浮揚用具を着用していなければならない。これは RRS 40 を変更している。
- 16.4 救助を求めるときには、手のひらを広げて大きく振ること。
- 16.5 レース委員会は、参加者の意思に関係なく救助することがある。
- 16.6 運営艇に N/H 旗、N/A 旗、AP/H 旗または AP/A 旗が上げられた場合には、速やかにハーバーに帰り、帰着申告を行わなければならない。海上エントリ艇は、自ハーバーへ戻った後、江の島ヨットクラブへ電話連絡すること。

17. 乗員の交代 [DP]

競技者の交代は、レース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。

18. 運営艇

18.1 レース運営艇の標識は、江の島ヨットクラブ旗とする。

18.2 プロテスト委員会の乗艇する艇の標識は、黒文字で『PROTEST』を記された白旗とする。

19. ごみの処分 [DP]

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

20. 無線通信 [DP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

21. 賞

賞を次のとおり与える。

- 1) ノルウェー王国大使杯(バイキングシップ・持ち回り杯) 優勝
- 2) 湘南なぎさパーク杯 優勝
- 3) 2位 3位に賞を与える

* 表彰式に参加できず賞を受け取れなかったものは、2017年12月末まで江の島ヨットクラブ事務室で受け取ることができる。

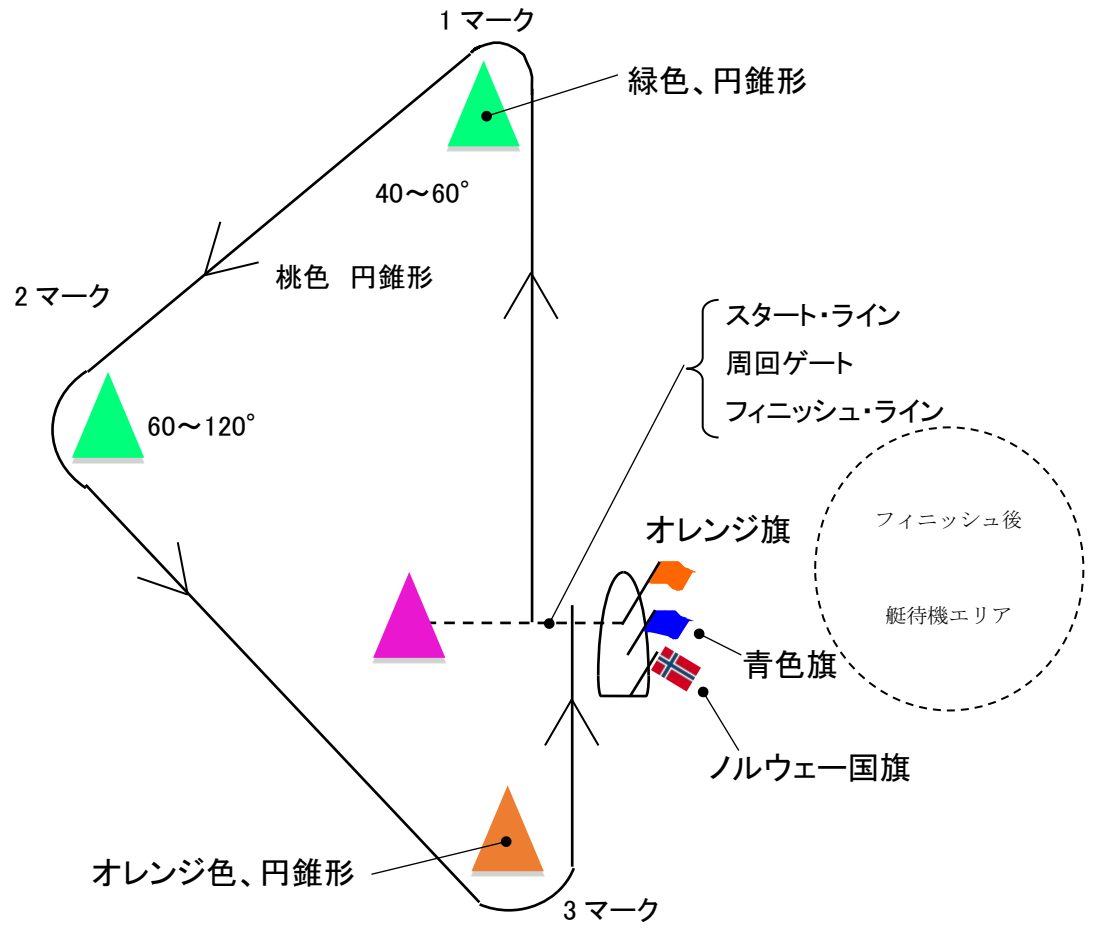
22. 責任の否認

この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4「レースすることの決定」参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

23. 保険

艇は、大会期間中に有効なスポーツ保険に加入していなければならない。

添付図



レグ スタート→(1→2→3)×周回→フィニッシュ